

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
420012	X-31-B-2-420012	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
情報倫理／情報リテラシーと倫理				宇田 隆幸	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
					【1～3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	2年
					【1～3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択	2年
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	1年
			【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	1年		

授業目的

- ・情報システム領域の基本的な専門技術を修得することを目的としている。
- ・コンピュータネットワーク社会と情報倫理、著作権、情報セキュリティ、技術者倫理の関係を理解し、公衆の安全と福利における技術者の知識の重要性、技術者が担う責任について学ぶ。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 情報リテラシーと倫理の全体概要説明</p> <p>注意事項の説明 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。</p> <p>第2回 【授】 情報リテラシーと倫理概要：情報リテラシーとは、情報倫理の意義 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。</p> <p>第3回 【授】 ネットワークと情報機器利用時の基本ルール：ネットワーク社会と従来の社会の違い 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。</p> <p>第4回 【授】 ネットワークとホームページ：ネットワーク・エチケット、ホームページの注意事項 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。</p> <p>第5回 【授】 コンピュータウイルス：コンピュータウイルスとは、感染防止方法、ハッカーとは 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。</p> <p>第6回 【授】 個人情報不正利用：個人情報とは、不正利用による被害、振り込み詐欺 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。</p> <p>第7回 【授】 情報漏洩対策：情報漏洩の原因と問題点、個人情報保護法、情報漏洩の防止対策 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。</p> <p>第8回 【授】 プライバシー侵害と情報操作：プライバシーの権利と保護、情報操作</p> <p>レポート課題1を出題する。 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。事後に（レポート課題1）（8時間）を作成。</p>	<p>第9回 【授】 事例研究：プライバシー侵害と情報操作の事例 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。</p> <p>第10回 【授】 知的財産権と倫理：知的財産権とは、著作権とは、著作物の使用と利用 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。</p> <p>第11回 【授】 情報セキュリティ：情報セキュリティと倫理、セキュリティ対策と技術 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。</p> <p>第12回 【授】 企業の製造物責任（PL）：製造物責任とは、訴訟事例、製品安全活動</p> <p>レポート課題2を出題する。 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。事後に（レポート課題2）（8時間）を作成。</p> <p>第13回 【授】 企業の倫理：ビジネスにおける倫理、コンプライアンス（法令遵守） 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。（レポート課題2）を提出。</p> <p>第14回 【授】 技術者の倫理：技術者の倫理とは、正直性・真実性・信頼性、内部告発 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。</p> <p>第15回 【授】 技術者倫理と JABEE：倫理問題解決に必要な能力、倫理問題の分類と対処法／定期試験 【前・後】事前に資料を印刷し、予習（1じ時間）、復習（2時間）をすること。事前に重要事項をまとめること。</p> <p>第16回</p>
---	---

成績評価方法

- ・評価の分布などをポータルにて公表する。

教科書・参考書

資料を配布する（本校の講義概要からダウンロードし、各自がプリントアウトする）。

受講に当たっての留意事項

- ・出席管理システムにより出席を入力すること。
- ・1/3以上欠席すると、期末試験の受験資格がなくなる。
- ・レポート提出は期限厳守。期限後の提出も認めるが減点する
- ・資料は事前にポータルからダウンロードして、コピーを持参すること。1ページに6コマで印字すること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
○	情報セキュリティ対策として ISMS 推進担当・ISMS 実施計画ソフトウェア研究・設計	×

学習到達目標

- ・コンピュータネットワーク社会と情報倫理（ネットワーク、ウイルス、個人情報、プライバシーなど）の関係を理解し、基本的な知識を習得する。（定期試験：25%）
- ・情報倫理に関する事柄について正しいか誤りであるかの判断がある程度できるようになる。（定期試験：25%）
- ・情報倫理に関連する義務と責任（ウイルス、個人情報、著作権、情報セキュリティ、PL、技術者倫理など）を学び、それらが情報倫理の問題解決にどのように役立つかを理解し説明できるようになる。（定期試験：30%）
- ・自己学習による調査により情報倫理について、さらに考える力を養う。（レポート：20%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E、G

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習